

議会報告会での意見・要望等 (分類3であり、類似のものは集約)

○議会報告会に関係すること

- ・特定の参加者の説明が長いときには、注意をしてほしい。【労福】
- ・報告係は、市民に背を向けて説明をするのではなく、市民の反応を見ながら説明すべきである。【駒馬】
- ・手話通訳や要約筆記の対応をしてもらえれば、障害者にも議会報告会を案内することができる。総合福祉センターだけでも対応してもらいたい。【総福】
- ・参加者がふえるように、さらなるPRに努めてほしい。【総福、勝立】
- ・資料については、イラストや画像等で理解しやすくしてほしい。また、議会報告会のタイトルには開催年度を記載してほしい。【三池、手鎌】
- ・答弁係が答えられないときは、答えられるほかの議員が答弁をするなどして、はっきりと答弁をしてほしい。また、質問によっては、議員各人が答えるようにしてほしい。【労福、三池】
- ・報告（説明）では、財源の裏づけなど、私たちの税金が使われることなので詳細に説明するべきである。【三池】
- ・議会報告会を年に2回開催されるなど、市民と議会との意見交換の場をもっとふやしてほしい。【吉野、勝立】
- ・夕方の開催時刻が18時だったが、もう少し後の時間の開催をお願いしたい。【勝立】
- ・子供からお年寄りまで、誰もが気軽に参加できるようにしてほしい。【手鎌】

今回の議会報告会では、議会報告会自体に対して、上記のとおり様々な意見・要望をいただきました。

まず、手話通訳や要約筆記の対応の要望につきましては、誰もが参加しやすい環境を整える上でも必要であるとの認識のもと、平成25年度は総合福祉センターの会場で対応したところです。

また、議会報告会の広報・周知不足の指摘につきましては、これまで同様に市議会だよりやホームページ等を使ったPRを継続するとともに、平成25年度は口コミでの周知やまちづくり協議会などの住民組織の会議等に出席して趣旨説明を行うなどして、さらなる広報・周知に努めてまいりました。

さらに、市民と議会との意見交換会の場をふやしてほしいとの要望につきましては、議会報告会の開催回数は原則年1回としていますが、必要に応じて開催回数をふやすことができるものとしていますので、時事等の状況に応じて開催したいと思います。なお、市議会といたしましてもより多くの市民の皆さんからの声をお聞きしたいとの思いから、25年度からはそれまでの8つの開催会場数から9つにふやしたところです。

そのほかの事項につきましても皆様からいただいた声にお応えするべく、よりよい議会報告会となるよう引き続き検討や見直しを行いながら、今後とも取り組んでまいります。

○議会の運営に関すること

- ・本会議の採決時において、傍聴者席からは議員の賛否が見えにくいので、傍聴席のモニターで、もう少し分かるような映し方を工夫してほしい。【三池】

議場の傍聴席から採決時の議員の様子が見えにくいとの指摘をいただきました。

議場の構造上、傍聴席からは議席が見えにくくなっています。そのため、傍聴席にモニターを2台設置し、質疑質問や採決の様子を放送しているところです。指摘のありました採決時の映し方につきましては、議席全体を一度に映し出すなど、より議員の賛否がわかるような映し方に努めます。